

お客様へのご提案・商品開発に SDGsに基づく3つの視点を



手肌にやさしい
ハンドウォッシュ

手指の除菌・抗菌・
消臭スプレー

人の視点
日々の生活を
安心して送ることができ、
心の潤いが満たされ、
健康的かつ充実した仕事や
暮らしに必要な
衛生的な環境の創出

地球の視点
大量生産・大量生産・
大量廃棄型から、人や環境に
負担の少ない循環型に転換。
持続可能な衛生的生活空間の
創出により地球環境を保全

空間の視点
香り、水質、ウイルス、
生態系など一体的に
とらえた健全な環境の創出

お気軽に
お問い合わせください。
詳しく説明させて
いただきます。
担当/CSV推進室 斎藤

ユタコロジーは快適空間を創造するプロ集団。
人にやさしく、地球環境にもやさしい商品開発を行っています。
コロナ時代に対応する除菌・抗菌スプレーや自動センサー付き
ディスペンサー、SDGsの観点から開発した環境考慮型の手肌に
やさしい洗剤など、お客様のお困りごと、ご要望に寄り添った商品
をご提案いたします。お気軽にご相談ください。

お問い合わせ・ご注文：
総務部 CSV推進室 **栗原・斎藤**
☎052-851-0077
または担当営業まで

YUTACOLOGY SDGs宣言

ユタコロジー株式会社は、「人々のために、技術を伝播し、
わくわく感を共創する。」という経営理念のもと、
国際連合が提唱するSDGs(持続可能な開発目標)に賛同し、
持続可能な社会の実現に努めることを宣言いたします。
ビルメンテナンス業界から社会的課題の解決に取り組み、
ユタコロジー社員が一丸となって、
持続可能な未来を築いてまいります。

2020年4月1日
ユタコロジー株式会社 代表取締役 酒井秀京



Continue

2020 SUMMER
vol.18

YUTACOLOGY'S communication press



コロナ時代の ビルメンテナンス × SDGs



ユタコロジー株式会社
〒466-0841 名古屋市昭和区広路本町4-48
tel 052-851-0077 e-mail info@yutacology.co.jp
URL https://yutacology.co.jp



コロナ時代のビルメンテナンス × SDGs

withコロナ、アフターコロナの世界をふまえ、仕事の仕方や建物の必要性がこれまでとは大きく変わり、ビルメンテナンスにも変化が求められるいま。国際連合が提唱するSDGs(持続可能な開発目標)に賛同するユタコロジーは持続可能な社会の実現を目指し、SDGsの視点をもったコロナ時代のビルメンテナンスをご提案してまいります。

よりお役に立てる仕事を創造する

現在、withコロナの時代と言われ、我々の思考や行動がどう変化するか、あるいは変化しない大切なものは何なのかすら、考える間もなく「非接触」や「三密防止」というルールが社会を一気に覆いました。

では、私ども快適空間を創造するユタコロジーは、どうお客様のお役に立てるのだろうか、自問自答や試行錯誤をおこなって参りました。今後ユタコロジーが目指すものは、『お客様や施設利用者様の視点を持ち、同時に社会的課題を解決する快適空間創造企業になる』ことです。今年SDGs宣言、CSV推進室の立ち上げを行い仕事を進めておりますが、更に加速する必要がありますと考えております。

昨年創業60年を機に社名変更した『ユタコロジー』は自社造語であり、ユタ(豊かな心、先人たちへの感謝)、コ(Co.ともに)、ロジー(未来へ続くストーリー創り)です。これからのストーリー創りは、お客様とともに紡ぐものであり、その意味でより社会性のある(=よりお役に立てる)仕事を創り続けていく使命を感じております。

現在、約350名の清掃クルーがお客様の施設で仕事をさせていただいており、今回のコロナ禍で、日常的に施設を除菌消毒するサービスを開始させていただきました。また、施設をひとつの空間・生命体のようにとらえ、“快適空間のトータルコーディネート”という文脈で、除菌消毒機器等のご提供も開始させていただいたところです。

震災時のBCP(事業継続計画)における弊社クルーの活用等々、その他背伸びをしながらも、今後ご提案させていただきたいことが数多くございます。

SDGs(持続可能な開発目標)という世界規模の考え方に賛同し、弊社ユタコロジーは、安全に、安心して集い寄り合い続けることができるお客様の快適空間、社会創りに寄与すべく、努力し続けてまいります。

お客様へSDGsとITの観点からビルメンテナンスをご提案

ユタコロジーがいまなぜSDGsに取り組むのか。それは、SDGsの視点をもったビルメンテナンスが環境保全をはじめとした持続可能な社会に貢献するだけでなく、建物の価値を維持し、お客様の経営課題解決にもつながると考えるからです。

ユタコロジーの今年のテーマは『やり遂げて創る』。経営理念「人びとのために、技術を伝播し、わくわくを共創する。」をもとに、次の3つの方針を掲げました。



これらの方針をやり遂げるためには、スピードをもって確実に仕事を行うこと、またお客様のご要望やお悩みをしっかりと伺いすること、つまり自分たちの技術力を磨き、お客様との信頼関係を深めることが大切だと考えます。

「新たな切り口」については、そのひとつがSDGsです。弊社が行うビルメンテナンスは快適空間の創造であり、お客様へのご提案は単なる作業提案ではなく、SDGsの視点でご提案いたします。

快適空間、安全空間についてのサービスをご提供することで、お客様の環境やそこに集う人、働く人にどのように影響し、さらに地域、社会、世界にどのように影響・貢献するのかを考えてまいります。

もうひとつの切り口はIT化です。作業プロセスをITによって見える化し、お客様と情報を共有することで時短と効率化を図ります。IT化には、欲しい時に欲しいデータを即座に入手できる、紛失リスクをなくすなどといった管理面でのメリットもあります。

今後は、SDGsの視点とITによる見える化で、お客様の未来へ向けた経営イメージを、ユタコロジーがともに共創させていただきたいと考えております。

共創とは共感と創造です。お客様の抱える問題や課題を見つけ解決する問題解決力、共感するコミュニケーション力、創造する構想力。これらを発揮しながら、お客様のお役に立てるよう努力してまいりますので、お困りごとやご要望は何なりとお聞かせただけましたらうれしく思います。



ユタコロジー株式会社 経営理念

人びとのために、技術を伝播し、わくわく感を共創する。

誠実

挑戦

共感・創造

代表取締役 酒井秀京



11 住み続けられるまちづくりを



地域になくてもならない ユタコロジーへ

ユタコロジーは内閣府設置の「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」に参画しています。

地方創生の目的は、地域の人口減少や経済の縮小を克服し、少子高齢化に歯止めをかけ、地方が将来にわたり成長力を確保することです。

当プラットフォームは、日本のSDGsの達成への取り組みと地方創生へ向け、企業、自治体、大学・研究機関等がパートナーシップを深め、官民連携を進めることを目指しています。

そこで、地方が今後成長力を確保し続けるために求められるのは、その地に住む方々が安心して暮らせるような、持続可能なまちづくりと地域の活性化です。

私は、SDGsはまさに地方創生の原動力になるものだと思います。SDGsの達成は世界の共通目標ですが、私たちが暮らす地域の目標でもあるのです。

SDGsの17のゴールの中に「住み続けられるまちづくりを」(ゴール11)があります。

地域に貢献し、地域とともにある企業であるために、私たちは「地域の中になくてもならないユタコロジー」を目指していきたくと考えています。

カーボンオフセットしています

ユタコロジーは、事業活動により発生する温室効果ガスを排出権購入により、カーボンオフセットしています。



交通安全パトロールや一斉清掃でも貢献を

今年度、私は昭和区交通安全協会の副会長を拝命し、この7月10日「交通安全ゼロの日」に、昭和警察署長とパトカーでの広報・巡視を行いました。

地域の方々が主な交差点に立たれ、通学する小学生や歩行者のために交通安全活動をされる中、声かけをさせていただきました。

地域の方々による啓発活動や、警察の方々の見守りにより日々安全に生活ができることに、改めて感謝の念を新たにしました。

当社も社員、スタッフは現場への移動などに車や自転車を使用します。日ごろから時間に余裕を持ち、安心して目的地へ到着できるよう注意をしていますし、なおいっそう交通安全の意識を徹底してまいりたいと思います。

また弊社では地域一斉清掃活動を定期的に行っています。これらの活動が、地域の皆さんが安心して暮らし続けられるまちづくりの一助になればと思いますし、私たち自身の働きがいにもつながっていると感じます。

60年前、創業者である私の祖父・勝五郎は、リヤカーに掃除道具を積んで地域の現場を一軒ずつ回りました。清掃という仕事がお客様のお役に立ち、社会に貢献する仕事であるという誇りを持って、定年後から事業を起こしたのです。

2030年までの達成を目指すSDGsは今後ますます注目され、SDGs経営は企業のスタンダードになるでしょう。

私たちは創業の精神を胸に、SDGs達成を目指してこれからも学びを深め前進してまいります。

7月10日(金) 昭和区交通安全協会

交通安全ゼロの日 広報・巡視に参加しています



パトロール後、昭和警察署長 警視 杉山定義様と。昭和区交通安全協会副会長として、改めて地域の安心安全への思いを強くしました。

8 働きがいも経済成長も	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任
15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナーシップで目標を達成しよう

8月3日(月) 本社周辺地域一斉清掃

全社一斉で本社周辺地域を清掃しています



全社一斉で本社内を清掃。また通りかかる地域の方と朝の挨拶を交わしながら周辺の清掃を行いました。清々しい気持ちで一日の業務を始めることができました。

3 すべての人に健康と福祉を	8 働きがいも経済成長も	11 住み続けられるまちづくりを
12 つくる責任 つかう責任	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に



SDGsプロジェクトが 前進しています!

この春、ユタコロジューは「ユタコロジューSDGs宣言」を発表。全社員で取り組むSDGsプロジェクトが始動しました。

6月、一般社団法人中部SDGs推進センター副代表理事 百瀬則子さん、環境カウンセラー 加藤美奈さんを迎えて3回目の勉強会を開催。今回は「コロナ後の世界とSDGs」「経営理念が具現化された“あるべき姿”とSDGs」をテーマに、ユタコロジューとSDGsの17のゴールを結びつけていきました。

SDGs達成で
お客様のお役に立つ
企業になるために

2020年
6月18日

プロジェクト-III SDGs社内勉強会③

講師 一般社団法人中部SDGs推進センター副代表理事 百瀬則子さん
環境カウンセラー 加藤美奈さん



これまでに実施した2回の勉強会では、SDGsの内容や目的を知り、ユタコロジューが取得しているISO14001(環境マネジメントシステムの国際規格)とのつながりや、経営理念とSDGsをつなぐワークを行い、意見を交換しました。

3回目の勉強会では、グループに分かれ3つのワークに取り組みました。

ワーク1

ユタコロジューの業務とSDGsを結びつけよう

業務、総務、営業で各自が担当する業務を付箋に書き込み、SDGsの項目と結びつけました。

→ グループで共有。さらに全員で共有。

ワーク2

各部署(業務、総務、営業)のつながりを考え、ストーリーとしてつなげよう

ユタコロジューの“エクセレントカンパニー”としての姿、それはSDGsを達成する企業です。

ユタコロジューがエクセレントカンパニーを目指すために、各部署が関わるSDGsに加え、他の部署とのつながりを考え、ストーリーとしてつなげました。また、他部署とともに取り組むSDGsについても記入していきました。

→ グループで共有。さらに全員で共有。



ワーク3

部署ごとにユタコロジューが選ばれる理由を記入しよう

「ユタコロジューが選ばれる理由」を記入。部署ごとに貼り出し、全員で共有しました。

業務

ユタコロジューが選ばれる理由※抜粋

- 高い技術を持つ
- 丁寧な対応、思いやりある対応
- 信用信頼できる
- 人材豊富
- 素早く対応できる
- 自社オリジナルの施工方法
- 正確に行う
- 丁寧、技術



総務 経理

ユタコロジューが選ばれる理由※抜粋

- 丁寧な作業
- 迅速な対応
- 環境にやさしい
- お客様の目線に立った価値の共有、創造ができる
- 社会貢献できる会社
- 信頼していただける対応やクオリティ
- 他メーカーにないニッチな商品がある



〇〇だからユタコロジューに頼みたい

全体

ユタコロジューが選ばれる理由※抜粋

- 安心して任せられる
- 記録データが一括で見られる
- 質の高い仕事
- ワンストップでラク
- 人と地球と社会を考えた提案ができる
- 良い関係性を保てる
- 会社を好きだと言える社員がいる
- 社内外共に報告、連絡、相談、確認を徹底
- 環境を守ることができる会社
- 環境に良い効果を与えられる



ユタコロジューの「今」を振り返りながら、SDGsと経営理念に基づく「あるべき姿」を具現化。全社員で再認識し、共有することができました。

ユタコロジューは引き続き学びを深め、事業を通じSDGsを達成するエクセレントカンパニーを目指してまいります。

ユタコロジュー はお客様と共創し、チームでSDGsに取り組んでまいります。
ぜひご意見やご質問をお聞かせください。



営業

ユタコロジューが選ばれる理由※抜粋

- 期限厳守
- 営業も業務もできるエキスパートが多い
- 安全、安心、環境に配慮している
- ご要望以上の清掃を常に行う
- 社員全体が環境を意識している
- SDGsに取り組んでいる

